

この説明文書は服用前に必ずお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。



水なしで服用でき、酔ってからでも効く 乗り物酔い薬

第2類医薬品

トラベルケア速溶錠

乗り物酔い(動揺病)は、一時的な自律神経失調です。乗り物の発進・停止や動搖(ゆれ)が続くと、体の平衡機能を調節している内耳の迷路器官や嘔吐中枢を刺激してめまいや吐き気を起こします。このため乗り物酔いを防ぐには、動搖などからくる迷路器官や嘔吐中枢の興奮をしずめることが必要です。

- **トラベルケア速溶錠**は、スコポラミン臭化水素酸塩水和物をはじめとする4成分が、乗り物酔いによる吐き気やめまいをしづめます。
- **水なしでそのまま服用できる**ブドウ味の速溶錠です。気分が悪くなってからでもすぐに服用いただければ、効果を発揮します。

⚠ 使用上の注意

☒ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

フェニルケトン尿症の人(本剤はL-フェニルアラニン化合物を含んでいます。)。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他の乗物酔い薬、かぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、胃腸鎮痛鎮痙攣薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、アレルギー用薬等)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと

(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがある。)

必ずお読みください。



🏥 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- 医師の治療を受けている人。
- 妊娠又は妊娠していると思われる人。
- 高齢者。
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 次の症状のある人。
排尿困難
(6)次の診断を受けた人。
緑内障、心臓病



2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
精神神経系	頭痛
泌尿器	排尿困難
その他	顔のほてり、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

□のかわき、便秘、眠気、目のかすみ

用法・用量

次の1回量を、かむか、口中で溶かして服用してください。ただし、乗物酔いの予防には乗車船30分から1時間前に服用してください。

年齢	1回量	服用回数
成人(15才以上)	2錠	4時間以上の間隔をおいて1日2回まで
7才～14才	1錠	
7才未満	服用しないこと	

<用法・用量に関する注意>

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)食前・食後にかかわらず服用できます。
- (4)右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



効能

乗物酔いによるめまい・吐き気・頭痛の予防及び緩和

成分・分量

4錠中

成分名	分量	作用
スコポラミン臭化水素酸塩水和物	0.5mg	乗り物酔いの原因となる自律神経の興奮を抑え、めまいや吐き気を抑えます。
メクリジン塩酸塩	73mg	自律神経や嘔吐中枢の異常な興奮を抑え、乗り物酔いによるめまいや吐き気をしめます。
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	1.08mg	中枢神経を抑制し、乗り物酔いによるめまい・吐き気を抑えます。
無水カフェイン	40mg	脳血管を収縮させることによって乗り物酔いによる頭痛を和らげます。

添加物：D-マンニトール、セルロース、乳糖水和物、クロスピビドン、ケイ酸Al、アスパルテーム(L-フェニルアラニン化合物)、ステアリン酸Mg、香料、安息香酸ベンジル

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)。
- (4)使用期限をすぎた製品は服用しないでください。なお、使用期限内であっても、アルミ袋の開封後はなるべく早く服用してください。(品質保持のため)

乗り物酔いをさけるためのアドバイス

- 前夜は、睡眠を十分に取りましょう。
- 食べすぎや、極度の空腹は避けましょう。
- 前方の席や窓際の席を選び、後ろ向きの座席は避けましょう。
- 楽な姿勢で遠くの景色を見たり、おしゃべりをするなどゆったりとした気分で過ごしましょう。
- ゆったりとした衣服を身につけましょう。

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

小林薬品工業株式会社 お客様相談室
電話：0120-584-419
受付時間：10時～16時(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構
0120-149-931(フリーダイヤル)